

学習グループ活動記録

- ◇泉 グループ 担当： 泉 敬子（文教大学教育学部名誉教授）
補助： 佐藤ひろみ・多田圭子
メンバー： 19名
活動日： 前期第3火曜日（後期振替水、金曜日）

活動内容

- 4月27日・フランス哲学者の食卓
5月25日 禅僧の食卓
2回に分けて両者の比較を行い討論した
6月22日 食感覚の擬音語・擬態語の蒐集と選択
7月3日 生活科学研究所公開講座
10日 「環境問題を考える」 希望者は聴講した
9月28日 ベトナムの衣、食、住、宗教についてのレクチャー、後代表的なベトナム料理を紹介
10月29日 〈味の文化についての学習〉
(1) 食習慣の成り立ち
脳内における食物情報の流れ、食習慣と味覚機能、国による食習慣の違い等を学習した。
11月24日 (2) 食べもの飲みもの嗜好についてのメカニズム
12月17日 生活科学研究所研究発表会
1月26日 (3) 嗜好の変化
2月22日 (4) 漬物にみる味覚の成り立ち

- ◇蒲生グループ 担当： 蒲生 不二男（文教大学教育学部教授）
補助： 清水美津子
メンバー： 6名
活動日： 第2・4木曜日（1999年4月～2000年1月 全10回）

活動内容：平成元年度から発足したホームマネージメント・スクールは今までの学習のまとめとして、メンバー各自が学習成果を文章にして報告集を作成するという作業を平成10年から継続して行っている。蒲生教授の示唆やヒントのもとに、各自が文章を直して行くという形式で進められ、大きな課題と取り組んでいる。このようにして2000年3月には完成の予定である。